



僧子  
600  
117



門子曾  
卷 600  
卷 117



部

部

部

部



部

部

部

部

東家也上下以明小如月

為法亦如也

ほつとふとさうさう困るる 否也

同いよあゝ宮まの龍

解脚をさうさう信るをさうさう可也

卯のまをさうさう明る産砂

夕まをさうさう涼る

まをさうさう二振る



一 志とて鹿野を渡る

一 志とて鹿野を渡る

一 志とて鹿野を渡る

無負

一 志とて鹿野を渡る

一 志とて鹿野を渡る

無負

一 志とて鹿野を渡る

無負

一 志とて鹿野を渡る

無負

一 志とて鹿野を渡る





三

る  
る  
る

